

西川 コミュニティだより

第56号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和5年12月22日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

ふるさと西川での一年

西蒲区役所西川出張所長 古寺 利夫



この春から16年振りに西川出張所の庁舎で勤務することになりました。今は西区に住んでいますが、生まれ育った地域でまた働けることをうれしく思っています。ふるさと西川での一年を地域の行事を通して振り返ってみました。

●六月：にしかんパレード

「まさ夏まつり」に合わせて、「デイズニーの仲間たちがやって来た「にしかんパレード」が開催されました。西蒲区の一体感醸成のため各地域からもパレードに参加しようと、西川地域からは「越後にしかわ傘鉦」が参加しました。小中学生を



持ち手とした傘鉦を中心に、先導役には「かさぼん」をオープンカーに乗せて沿道約6万人の観衆の中をパレードしました。

傘鉦の運搬や持ち手の確保など、西川から離れた場所で行列を行うのは大変でしたが、西川コミ協、傘鉦

伝承会、西川商工会、小中学校等の協力のもと、西川の伝統文化を大観衆の中で披露できたことは大変有意義だったと思います。

●八月：西川まつり

昨年は新型コロナウイルスの影響で一日での短縮開催でしたが、今年は土・日の二日間をかけて、県警音楽隊パレード、西川中学校吹奏楽部演奏、神輿渡御、傘鉦巡行、越後傘鉦盆踊り、大筒花火打ち上げなどの各種行事を行うことができました。

以前のように商店街（傘鉦通り）での民謡流しはできませんでしたが、盆踊り、花火、福まきと連続する夜の行事も賑やかで、久しぶりに西川まつりを堪能しました。

●十月：越後にしかわ時代激まつり

今年の代官献上米行列では、曾根代官役をBSNアナウンサーの行貝寧々さん、総代役を堀西蒲区長が務め、秋晴れの中、時代衣装の行列を盛り上げました。

この時代激まつりも、平成六年の最初の開催から30年も続きます。

実行委員会の皆様のご尽力に感謝するとともに、今後とも西川の歴史を物語るまつりとして、地域内外の方々から親し



※次頁へ

■西川地域の総人口:10,445名(-20名) ■男:5,055名(-3名) ■女:5,390名(-17名) ■世帯数:4,093戸(+9戸)

()は、前号との比較 (令和5年11月末日現在)

※前頁より
 まれながら続いていくことを願っています。

この一年は、ようやく地域の様々な行事がコロナ禍前と同じように開催できるようになり、地域の活力が戻ってきたと感じています。地域の行事は人と人につながって作り上げていくものと思えます。来年も、地域の皆様から各種行事に積極的に関わり、参加していただき、ふるさと西川への愛着を高めていただければ幸いです。



▲(番外編)11月:東京・新潟西川会に参加(東京上野で開催)

ふるさと西川を離れ東京などで活躍している人たちが平成5年に結成された「東京・新潟西川会」の総会に西川コミ協の高橋副会長と参加してきました。みなさんご高齢ですが、出身小学校の校歌を元気に歌っていました。

初期消火に貢献として、西蒲消防署から三名の方に感謝状が贈られました。

内藤 浩治(旗屋)
 本間 新一(旗屋)
 渡辺 朋紀(鮎)

お知らせ

スポーツ玉入れ大会

- 期 日:令和6年2月23日(金・祝)
 - 会 場:西川体育センター
 - 時 間:午前9時~午前中で終了
- ※チラシを回覧します。ふるって参加を!

西蒲区役所新庁舎整備事業

今年度行われました「まち懇」において説明がありました通り、現庁舎跡地に整備することで検討が進められています。西川地区では「コミ協推薦として高橋良明副会長」から検討委員として参加していただいております。詳細は、区役所だより等でお知らせします。

カレンダー廃止

西川地域カレンダーは、大変好評でしたが、印刷費や配布方法等に課題があり、今年度をもって廃止とさせていただきます。行事予定等は「コミ協だより」に掲載する予定です。ご活用ください。

【ご家庭トレーニング】

おうちで手軽にできる健康増進運動を

スキマ時間を使って、2~3分で簡単にできる体操です。みなさまもぜひやってみてください。

上体起こし 強化する筋肉:腹筋

- (1)両足を立て腰幅に開く、手は前方に伸ばし太ももにあてる。
- (2)おへそを覗き込むように息を吐きながらゆっくりと上体を起こす。
 ※肩が床から離れるくらいまで
- (3)元の姿勢に戻す。

※首が痛いときは手を頭の後ろで組み、胸を張って起き上がる。



コミュニティセンター
 健康サポート教室 鶴巻 健

【子供創作活動】 フラワー クリスマスツリー

今年、生花を飾る「フラワー クリスマスツリー」創りに挑戦。
 ヨーグルトの空き容器にスポンジを入れ、個々の想いでお花をアレンジするツリーづくり。当館で開催しているサークルの方々を中心に教えて頂きました。出来上がった独自のフラワーツリーにみんな満足した様子。
 例年のクリスマスプレゼントに加え、くじ引きなども行われ、とても楽しそうに過ごしていました。年々、保護者と一緒の参加者が増えてきて、地元活性化の一助になっていると感じます。



【詐欺ストップ】

だましのテクニックにご注意！

西川交番所長 長谷川 充

昨年、県内における特殊詐欺の被害総額は約五億二四九万円となっております。なぜ、被害に遭ってしまうのでしょうか？それは、犯人のだましのテクニックが、私たちの冷静さを奪ってしまうからなのです。犯人のだましのテクニックについて考えてみましょう。

まず、犯人は「パソコンがウイルスに感染した。」「未納料金を払わないと、裁判を起こす。」「今日中にしないと大変なことになる。」などと、私達を心配、不安、焦らせたりして、危機的状況に追い込みます。

その後、犯人は「今なら五万円です修理保証ができます。」「国から補償が出て返金できます。」などと言って、助ける素振りを見せ、今だけ特別と思わせて、心を揺さぶり指示に従わせようとします。

とにかく、電話でお金の話が出たら、詐欺を疑って警察に相談して頂きたいと思えます。



【高校生奮闘記】

文化祭での展示と立体切り紙

新潟工業高校・建築部の挑戦

私たちは10月28日に行われた文化祭で募集した展示品と、建築甲子園のコンペで作した作品を展示しました。

第3回「だいろアート展」で募集した展示品は「だいろ」をモチーフとした様々なバリエーションの作品が集まり、個性豊かで、来場した方々から好評を得ました。



コンペは昨年の建築甲子園全国大会で入賞した作品で、建築部の集大成といえるものであり、部員が一丸となつて取り組んだもので部員も皆誇らしく思っている作品です。

(小川 悠輝)



今年の文化祭では、立体切り紙で階段を作る体験を行いました。半分に折った紙に切り込みを入れて折っていく、単純な作業で作ることができます。ただ、切る場所や量、折る方向など少しでも間違えると違う形になってしまい、意外に難しい作品です。小学生や中学生など



一般の来場者の方もたくさん体験してくださいました。ありがとうございます。とおっしゃっていました。たくさんの方に体験を楽しんで頂けて、とても嬉しかったです。かのうハウスでもこんなワークショップが行えたらいいなと思いました。



(渡邊 瑠姫奈)



【防災】 ストーブを安全に使っていますか？

西蒲消防署西川出張所長 石山 拓己

寒い日に無くてはならないストーブですが皆さんは正しく安全に使用していますか。

毎年、十一月頃から翌年の三月頃までストーブが原因の火災が増加傾向にあります。ストーブから火災に発展する主な原因の上位は、次の三点です。

- ①可燃物が接触して着火
- ②灯油が漏れて引火
- ③灯油とガソリンを間違えて出火

これらが原因による火災を防ぐためのポイントは、周りに洗濯物などの燃えやすい物を置かない。就寝する際はストーブを消す。給油時は必ず消してから行い本体にセットする際は、灯油が漏れていないか確認する。

灯油とガソリンはそれぞれ専用の容器で別の場所に保管し、高齢者が給油する際は家族がサポートする。

ストーブ火災の多くは不注意によるものです。先に述べた「火災を防ぐポイント」を守り、正しく安全にストーブを使いましょう。



【国際通信】 ハワイ便り イオラニ宮殿

オーリス雪恵

歴史の浅いアメリカ合衆国で唯一と言われているイオラニ宮殿。ホノルル市内の真ん中に位置するイオラニ宮殿は他国に比べると規模はさほど大きくはないですが、上二階と地下一階建ての立派な造りになっています。



イオラニ宮殿は、ハワイ王朝末期のカラカウア王の命により、一八八二年に建立しました。一階は主に公式の場として使われ、謁見の間、ブルールーム（音楽の間）、晚餐の間などがあり、二階はプライベートの階で王と、女王の寝室や団欒室があります。そして当時ではまだ珍しい電気や電話などもアメリカ本土にあるホワイトハウスより四年も早くにイオラニ宮殿には備え付けられました。

十九世紀には世界各国から王族や貴族、政治家や芸術家が招待され、

夜になると謁見の間が舞踏会の場となり、華やかなドレスで



着飾った人々が夜通し躍り続けたと言われています。

カラカウア王は政治以外に、語学力や他国の文化にも興味を持ち、よく外国に旅行しては知識を広げ交流を深めていきました。そんな中旅先のサンフランシスコで突然病に倒れ崩御なされます。

カラカウア王の後に王家を継いだのはカラカウア王の妹であったリリウオカラニ女王です。リリウオカラニ女王は音楽に長けていて、かの有名なアロハオエという曲を作曲しました。順風満帆に見えたハワイ王朝もリリウオカラニ女王の時代になるとアメリカから政治家が頻繁に訪れるようになり、それがやがて王政派と共和制派の戦いへと進展し、リリウオカラニ女王は王権を剥奪され、イオラニ宮殿の寝室に幽閉されました。女王の幽閉期間が終了すると、ハワイ王国はアメリカへと合併され、イオラニ宮殿の家具などは世界中に売り飛ばされ、更に第2次世界大戦では政府のオフィスとして使われるなど宮殿は悲しい歴史も刻んでいます。

そんな華やかな歴史から悲劇もあつたイオラニ宮殿ですが、戦後に復興活動が続けられ、今は中を見学することができるようになりました。

日月曜日以外はオープンしていて、日本語のオーディオツアーも可能です。みなさんも次回ハワイに訪れる際はイオラニ宮殿ツアーでいつかの華やかなハワイ王朝に思いを馳せてみるのはどうでしょうか。

【海外協力隊】

これまで、そしてこれから(第三話)

元鑑郷小学校教員 井口 昭夫

前回までは、「井口家の子育て」の「これまで」について書いてきました。ここからは、「これから」です。定年まで忙しく、働き続けてきました。最近、教員は「ブラックな仕事」と言われ、人気がありません。しかし私は、やりがいのあるとても魅力的な仕事だと思います。

そして、やっと定年！定年には「自由」という特権がついてきます。今、夢中になっているのは、「シーカヤックやフィッシングボートでの釣り」と「水泳(毎日二km以上)」と「英語と投資の勉強」です。定年後は好きな事をやろうと決めてきました。まず、挑戦するのは、「海外ボランティア」。この秋、アフリカのボツワナへ小学校教師として派遣されます。JICA A派遣です。三十二年間の小学校教員生活で学んだ事を、ボツワナの先生方に伝えます。

福島県の二本松市の山中に岳温泉という温泉があります。先日、そこよりも山奥にある訓練所で二ヶ月間の語学訓練を終了し、晴れて派遣が正式に決まりました。そこでは、二十代の若者と寝食をともにしていました。クーラーもテレビもありませんでした。毎日、こなせないほどの課題が出て、いつも課題に追われていた毎日でしたが、今思うと素晴らしい二ヶ月間だったように思います。若者は、前に出ることを躊躇しない人達ばかりでした。ストレス

も多々ありましたが、それ以上に貴重な経験でした。ボツワナでは、たくさん友達をつくり、健康に留意しながら、充実した時間を過ごしたいと思います。

帰国後は、妻と新婚旅行の続きをします(新婚旅行は四ヶ月間の海外放浪でした)。投資で築いたお金で、インターネットを駆使し、世界中をまわります。その国の自然や文化・歴史、習慣等を学びながら旅を続けたいと思います(「地球放浪〜世界を学ぶ旅〜」)。人との出会いも大切にしながら地球を巡りたいです。妻と私の最高の思い出になることでしょう。帰国後は、日本全国、キャンピングカーを使つてのきままな旅も憧れます。

そして「第三の人生」の始まりです。できれば、「海の恵み」「山の恵み」「大地の恵み」に感謝しつつ、好きな音楽を聴いたり、読みたかった本を読んだり、映画を見たりしながら、畑に精を出し、妻と仲良く静かに暮らしたいです。また、機会を捉えて、今まで学んだ事、経験した事をアウトプットする、社会貢献もしたいと考えています。

誰もが避けて通れない事があります。人の「死」です。第三の人生では、「自分の「死」を意識し、それを自然な事として受け入れ、目の前の「一日」を楽しく、充実させて過ごす…」そんな生活ができたらと思います(まだまだ、そんな境地にはたどり着きませんが…)。定年後のキーワードは、「学び」&「チャレンジ」だと思います。

若い人には「自分の人生を設計するのは、自分自身なんだよ。」とアドバイスしたいです。そういう意識を早くから持ち、まず、将来の目標を決める。そこから逆算して、今するべき行動に繋げていくことが充実した人生を送る極意です。習慣化がとても大切です。

ここ、西川はとてもいいところです。人が優しく、海や山、新潟の中心地に近い！ここに出会えて本当によかったです。

最後の第四話は、ボツワナからお送りします。憧れのアフリカ！今から、ドキドキワクワクです。ちょっと恐い病気や日本と異なる習慣もたくさんあると思いますが、全てを新たな学びとして、さらに成長できるよう頑張りたいと思います。



浦佐にある国際大学のボツワナからの留学生
(とても元気のある明るくパワフルな女性達でした。
ボツワナ派遣が楽しみです)

【文化】

芸術・芸能 秋まつり

西川文化協会 佐藤 克巳

10月に3年ぶりの通常開催による秋まつりが行われた。芸術部は学習館で絵画、いけ花、工芸作品等の力作が揃った。特別出展の写真やキッズ倶楽部の作品には人だまりも出来ていた。芸能部は多目的ホールで、美醸太鼓部のオープニングで始まり、バレエ、フラダンス、カラオケなど盛り沢山の演目を披露した。

新規加入の社交ダンス会のタンゴは観客を魅了した。大勢の観客の中、この大ホールで披露できるのは至福の喜びといえる。

地域の文化発表の為に作られたこの大ホールが、その稼働率の無さゆえか、廃止するなどの話しが聞こえてくる。この多目的ホールは平成17年に町民の大きな要望を受けて建設されたもので、まだその輝きを失ってはいない。現在その管理運営は西川図書館が担っている。西川地域の活性化と文化発展の為に、この多目的ホールの廃止はありえない。

もつと民間活力を利用するなど、積極的な活用を考えたらと思う。



【郷土史料】

大切な郷土史料③ 熊潟新田資料

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

平成十七年(二〇〇五)新潟市と合併、二年後に政令指定都市新潟市西蒲区になるまで、旧西川町は様々な集落の統合をくり返して今にいたる。

例えば旧升潟村は、十一もの集落が一緒になって誕生した。そのうち十の名前に「新田」が付いていて、かつての潟や沼地を、収穫ができる開墾地に変貌させた地域が元になっている。

その一つ、現在名前のみが残る「熊潟新田」にちなむ、大変珍しい資料を写真で示そう。朱色の日輪の下に、「熊潟新田」の四字がころうじて読める。これは提灯の表面を掛け軸に仕立てたもので、元々傷んでバラバラになりかけていたのであるが、かつての所有者がこのように表具しておかげで、百年を経過した今日、無二の資料としてご紹介できる。

保管していたのは、四ツ合村(旧潟東村)の庄屋配下の組頭で、熊潟新田の庄屋・佐藤家だ。忠八、忠太郎、忠三郎、忠左久と江戸期以来続く旧家で、新保正興の家と極めて密接な関係を持つ。正興が初めて開いた塾、また正興が勤めた新潟師範学校で担当が学んでいる。

周辺の干拓史上有名な鎧潟を話題にすれば、西川町と潟東村はいくつもの関わりが見出せる。この視点で窺うと、佐藤家資料には他にも非常に大切な歴史の生き証人が含まれている。



熊潟新田提灯軸装 (110x37cm)

【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」パート②

編集委員 榎本 博

花むしろ 月をたぐみて 帰りける

中原 富壽



【大意】

咲き誇っている桜の下で、筵を敷いて宴席を楽しんだ。夜空に月も出て、そろそろ花見を終えようと、筵に月をしまつて帰ってきたことよ。

※「月をたぐみて」と、

機知の働いている句

待宵の 月に邪魔する 雲もなし

丸山 一夢

【大意】

今宵は、仲秋の名月の前日という大切な宵よ。もしも雲が出て折角の月を邪魔したら、気掛かりであったよ。幸い月にかかる雲も無く、空が澄んでいることよ。

※名月を待ち焦がれる

気持ちの込められた句



【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ③③

ガンバって かいたよ!

曾根おひさま子ども園



「パラソル」

うんどつかいの組体操で、パラソルをしているところだよ。

白井 絢翔
五歳児(らいおん)

「思い出旅行楽しかった」
皆でサントピアワールドにいったよ。お友達と汽車に乗ったよ。

高橋 亮佑
五歳児(らいおん)



「おいもほり」

おおきいおいもが沢山とれたよ。虫さんもいっぱいいてにぎやかだったよ。

加藤 樹
五歳児(らいおん)



【文化】

だるま絵を描き続けて

市場八百屋のおじさん 長谷川 巖水(克宏)



市販の筆ペンで段ボールなどに描く。

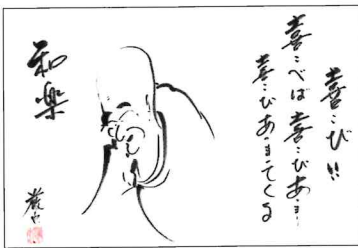
「おつ、いいねっか。」と言われれば、嬉しいもんだ。だるまの絵に、時々自分の気持ちを賛として書き添えて、お客さんにかけている。仕事の合間に描いている。

お客さんの家で「だるまの絵」を見て感動したのが始まり。自分でも描きたい。描けるだろうか?なんとしても描きたい。いろんな「だるま」を見て勉強。全くの自己流だが、ようやく人さまにあげられるようになって20年ぐらいかな。これからも、筆ペン握って、がんばるわ。



失敗してあつに悩む
嬉しそと嬉しくなる
人生に笑撃は笑し

巖水



喜びが
喜へば喜が
喜をあまてる

和楽

巖水

「郷土俳人十人集」パート③

楽しみは 幾度もつきぬ 菊合わせ

中澤 道月



【大意】

秋。厚物咲き、懸崖菊などが咲き誇り、絢爛たる菊花展を毎年とても楽しみにしている。幾度見ても、見尽くせない楽しい菊花展だ。

※日本の文化の
菊花展を楽しむ句

まだ幅もなき 鶯の 初音かな

小林 鶯宿

【大意】

ホーツホケキヨ!と高く澄んだ鶯の鳴き声が、春の訪れを告げている。だが、今はまだ2月それ程の伸びやかさはないが、確かにあれは鶯の第一声であることよ。

※春の到来への喜びの句



(次号へ続く)

【図書館】

本を読む楽しさ

新潟市立西川図書館 大龍 綾子

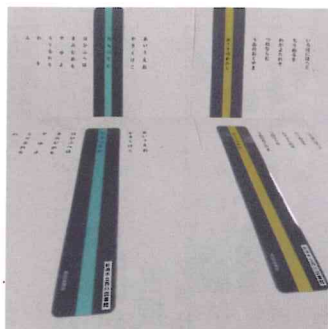
「本を読む楽しさ」は人それぞれ、ライフスタイルに応じたさまざまな楽しみの形があると思います。

本を読むと、興味や関心が広がったり、新たなスキルや知識を得られたりすることを実感したことのある人も多いのではないのでしょうか。

また、本を読むときに、しおりやブックカバーなどお気に入りの本のアイテムを使うことも読書の楽しみのひとつです。

そして本を読みやすくする拡大鏡やリーディングトラッカー（読書補助器具）、また電子書籍やオーディオブックなどを活用し、自分に合った本の読み方で楽しむ姿もよく見聞します。

年末には、この一年で感じた「楽しさ」を振り返り、そして年が明けたら新しい発見を探しに図書館にもお越しください。



リーディングトラッカー
(読書補助具)の使用例

※リーディングトラッカー:読みたい行だけに集中して文章を読むことができる道具です。視覚障がい(視野狭窄など)のある人の読書をサポートすると共に、集中して読書をしたい人にも便利なツールです。

「西川まつり」写真コンテスト
入賞作品を紹介します

西川地域コミュニティ協議会 「西川祭り写真コンテスト」係

「入賞作品」
をご覧ください。

だいろ賞



「親子」佐野洋司(四番町)

曾根神社賞



「かわいいね」小林ゆり子(押付)

最優秀賞



「堂々」高橋 泰弘(押付)

かさぼん賞

「傘鉾行列」

佐藤知巳(善光寺)

「宵花火」

本間 泉(升湯)

作品の展示

入賞作品の展示は、1月6日(土)～29日(月)
西川 図書館エントランス「西川まつり展」会場で展示します。

おめでとーございませう

第10回 日展 入選者

◎洋画 中野 雅友(六番町)

第51回 芸展 入選者

◎洋画 大橋 豊子(八番町)

◎写真 田中 恵子(鮎)

第54回 県ジュニア美術展

◆特賞 田中 創士(曾根小学校三年)

◆優秀賞 山田 萌杏(曾根小六年)

◆奨励賞

渡邊 晴風(和光幼稚園四歳児)

五十嵐 祈(曾根小一年)

田中悠大朗(曾根小一年)

星野 璃人(曾根小一年)

樋口 晃太(升湯小一年)

生田 晃介(曾根小二年)

山賀 達也(鎧郷小四年)

町田 簾央(鎧郷小五年)

第12回新聞スクラップコンテスト 入選者

神田 美琴(曾根小六年)

渋谷 蒼士(曾根小一年)

河川美化啓発ポスターコンテスト 優秀賞

本間菜椰美(鎧郷小三年)

23年日報写真コンテスト 入賞者

◆佳作 中澤 敏男(六番町)

編集後記

西川まつり、時代激まつりなどなど4年ぶりの全面開催が相次いだ今年でした。来年は、活力旺盛になって大きく成長すると言われる「甲辰」。さらに充実・発展して欲しいものです。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義

榎本 博 土田正博